



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

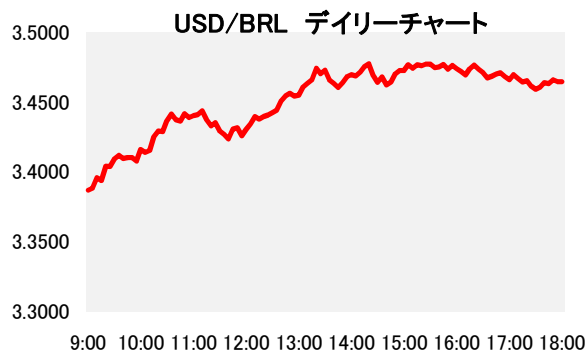
## 1. マーケット・レート

			11月25日	11月28日	11月29日	11月30日	12月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4140	3.3870	3.3920	3.3850	3.4640	+0.0790
	BRL/JPY	Spot	33.10	33.15	33.08	33.73	32.95	-0.78
	EUR/USD	Spot	1.0593	1.0594	1.0647	1.0601	1.0645	+0.0044
	USD/JPY	Spot	113.01	112.28	112.31	114.19	114.16	-0.03
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.035	12.965	12.970	12.910	12.986	+0.076
	Future	1Year(p.a.)	12.252	12.213	12.148	12.153	12.343	+0.190
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.270	2.209	2.131	2.303	2.413	+0.110
	USD	1Year(p.a.)	2.532	2.477	2.324	2.483	2.606	+0.123
株式	Bovespa指数		61559	62929	60987	61906	59507	-2,400
CDS	CDS Brazil 5y		308.08	301.58	299.85	297.62	312.71	+15.09
商品	CRB指数		185.726	187.760	183.979	189.312	191.406	+2.09

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

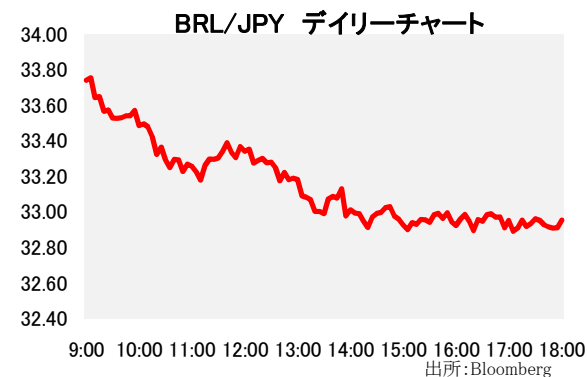
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.21%	0.17%	0.24%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	46.20	46.30
CNI設備稼働率(季調済)	76.5%	76.6%	77.0%
貿易収支(月次)	\$3000m	\$4758m	\$2346m
総輸出	\$14900m	\$16220m	\$13721m
総輸入	\$11800m	\$11463m	\$11375m
自動車販売台数(自動車販売店連盟)	--	178,141.00	159,044.00
(米)ISM製造業景況指数	52.5	53.2	51.9



## 3. 要人コメント

カプラン ダラス連銀総裁	GDPの伸びは低調だが、労働市場からスラック（たるみ）を取り去るには十分である。
-----------------	--



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.3920で寄り付いた後、直ぐさま本日の高値となる3.3830を付けた。しかし国内で政治的不安がレアル売り材料となったほか、大口の資金流出も見られると、レアルは3.44台半ばまで下落した。更に米ISM製造業景況指数が予想を大きく上回ったことで米利上げ観測が高まると、ドル買いが見られレアルは日中安値となる3.4780を付けた。引けにかけて3.4600から3.4800の間で推移した後、結局3.4640でクローズした。
- 米ISMが発表した11月の製造業総合景況指数は53.2と、前月の51.9から上昇、5カ月振りの速いペースで拡大した。
- ボベスパ指数は全セクターにおいて売りが見られ、約4%の下落となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。